

令和3年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	02	01	13	124520	花と緑の創出事業費		
総合計画	分野	02	暮らし	政策	01 環境の保全		
	施策	05	花のあるきれいなまちづくり				
目的	花と緑に親しむ機会を創出するため、花いっぱい運動や公共緑化の管理を行う。						
対象	市民、事業者						
意図	1年を通して花と緑にふれあう場をつくる。						
事業概要	花と緑のまつり2021の開催 0千円 花と緑の会への活動支援 100千円 花いっぱい運動の支援 5,385千円 公共緑化等の管理等 4,594千円						
市民参加の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	R02	R03	R04
1	花苗の供給数	千本	計画	268.00	238.00		
			実績	238.00	228.00		
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	R02	R03	R04
1	花壇実践登録件数（花苗供給を受けた団体・個人）	件	目標	350.00	350.00		
			実績	342.00	338.00		
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
花壇実践登録件数は、平成26年度から現実的な目標値として350件を設定している。しかし高齢化が進み、地域での花壇活動の維持が困難になってきている団体もあることから、継続的な実施が見込まれる市内事業所へ訪問しPRを行ったり、チラシやガイドブックを作成するなど、花壇等実践者数の増加に向け取り組んだが、目標に僅かに届かなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市総合計画でも花のあるきれいなまちづくりを施策の1つとして位置づけており、市の関与は妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	花壇実践者や関連団体会員の高齢化が進んでいるので、制度のPR等を行いながら、担い手を育成支援する必要がある。実践者花壇の紹介や活動状況のPRを工夫することにより向上を図る。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費については、花苗供給方法の見直しを図っており、これ以上の削減余地はない。また、職員は当該事業を実施するための最低限の人員により事務を行っていることから、人件費の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	事業は、全市民、市内全域を対象としていることから、公平・公正である。花と緑のまつりについても、対象を特定しておらず、公益性にも配慮した内容で公平・公正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	花のあるきれいなまちづくりのために、花いっぱい運動の普及・推進を市内全域に花苗配布を継続し、また、花壇等実践者の増加に向け市内事業所へ訪問するなどし、市内花壇の充実を推進した。
	次年度に向けて	高齢化が進み、地域での花壇活動の維持が困難になってきている団体もあることから、今後も花いっぱいのまち並みを目指し、花壇等実践者の担い手育成に努めていく必要がある。

令和3年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	04	01	04	144240	環境衛生活動推進事業費	
総合計画	分野	02	暮らし	政策	01 環境の保全	
	施策	05	花のあるきれいなまちづくり			
目的	環境美化のため、清掃活動や害虫駆除を支援する。					
対象	市民					
意図	市民の清掃活動に対する意識が高揚し、清潔な生活環境を維持する					
事業概要	衛生害虫駆除 359千円 一斉清掃 1,441千円 環境審議会委員報酬等 83千円 岩手県食品衛生協会花巻支会補助金 150千円 公衆衛生組合連合会補助金 725千円					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	一斉清掃の実施	回	計画	3.00	3.00	
			実績	2.00	3.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	一斉清掃の参加率	%	目標	56.00	56.00	
			実績	47.60	46.50	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
市広報等での周知や、公衆衛生組合連合会との連携により、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら無理のない範囲での作業を呼びかけ年3回の作業を実施し、参加率は目標値を下回ったものの微減に留まった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	清掃活動により生活環境の保全や公衆衛生の向上を図ることを目的としているため妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	効果的な害虫駆除対策として発生情報を発信しているが、さらなる普及により発生抑制が見込める。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	公衆衛生組合事業はボランティアによるところが多いので削減余地がない。職員がかかわるのは補助金交付事務、連絡調整などが主な業務であり、外部への委託に馴染まない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	全市民を対象としているため適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	市民総参加一斉清掃を年3回実施し、公衆衛生組合連合会と連携しながら地域の環境美化を推進した。
	次年度に向けて	・環境美化の推進のため、今後も公衆衛生組合連合会等と協力しながら一斉清掃等の活動を継続する必要がある。 ・害虫の駆除及び発生予防には市民の協力が必要であるため、駆除機器の貸し出しや広報等での情報提供により防除活動を引き続き支援していく。

令和3年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	04	01	06	144250	石鳥谷斎場施設改修事業費	
総合計画	分野	02 暮らし		政策	01 環境の保全	
	施策	05 花のあるきれいなまちづくり				
目的	石鳥谷斎場の長寿命化を図るため、建物の屋根等の改修に必要な調査と設計を行う。					
対象	石鳥谷斎場					
意図	石鳥谷斎場の施設の長寿命化を図る					
事業概要	石鳥谷斎場屋根等改修工事設計業務委託 3,410千円 石鳥谷斎場正面入口擦り付け舗装業務委託 176千円					
市民参画の有無	無し					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	石鳥谷斎場屋根等改修工事設計業務の実施	回	計画		1.00	
			実績		1.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R02	R03	R04
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
本事業の内容は既存の火葬場の屋根等の改修工事に係る調査設計などの業務であることから、成果指標の設定は馴染まない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	施設の長寿命化及び利用者の安全確保が図られることから、施設管理者（市）が関与することは妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	調査を実施することにより、緊急度と安全性や施設運営への影響等を考慮しながら計画的に改修することが期待できることから、成果の向上余地がある。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最低限の業務内容であり、事業費削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	施設の長寿命化及び利用者の安全確保を目的とした事業であり、公平公正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	石鳥谷斎場の長寿命化を図り中長期的に見込まれる火葬需要に対応するために、施設の屋根や外壁等の大規模な改修工事に必要な、施設の現況調査、改修仕様の検討・協議及び改修工事の実施設計を行い、次年度における施設改修工事の施工及び工事監理に係る予算措置を行ったほか、石鳥谷斎場の正面中央入口の段差を解消するために、アスファルト合材の擦り付け舗装によるスロープを設置し、施設のバリアフリー化を図った。
	次年度に向けて	施設改修工事が実施設計に基づき施工され、工事監理業務が適正に行われるように、事業の進行管理を行う。

令和3年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	04	02	01	144350	生活環境保全活動推進事業費			
総合計画	分野	02	暮らし	政策	01 環境の保全			
	施策	05	花のあるきれいなまちづくり					
目的	河川の環境美化のため、市街地の河川清掃を行う。							
対象	地域環境							
意図	清掃活動を通じ、地域環境の美化が図られる。							
事業概要	河川清掃業務委託 596千円 5河川 地域の自治会等5団体へ委託 ・新川・後川（坂本町）・藤沢川・籠堰川・旧瀬川 豊沢川活性化・清流化事業推進協議会補助金 250千円							
市民参画の有無	対象外							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	R02	R03	R04	
1	河川清掃のごみ回収量			t	計画	1.60	1.60	
					実績	2.00	2.30	
2					計画			
					実績			
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	R02	R03	R04	
1					目標			
					実績			
2					目標			
					実績			
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
河川の美化を図ることを目的として事業を実施しており、清掃活動を継続することにより効果が生まれているものであることから、単年度での事業効果を表す指標を設定することは困難であるため、成果指標を設定していない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	廃棄物処理に関することも含まれるため妥当である。
	妥当である	
見直し余地がある		
妥当でない		
有効性	成果の向上余地	看板設置や市民への啓発により、河川に不法投棄をされない環境を作ること、不法投棄の減少の余地がある。
	向上余地がある	
向上余地がない		
効率性	事業費・人件費の削減余地	委託相手が地域団体であり、民間業者より委託単価が低く抑えられていることから削減の余地はない。職員が関わるのは委託事務であり、外部への委託に馴染まない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	事業実施により、生活環境の美化が図られるため適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	河川清掃の実施により、河川の環境美化が図られている。
	次年度に向けて	河川清掃の実施により、地域の生活環境の美化が図られていることから、今後も事業を継続していく必要がある。

令和3年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	08	04	04	184260	公園整備事業費	
総合計画	分野	02	暮らし	政策	01 環境の保全	
	施策	05	花のあるきれいなまちづくり			
目的	市民が安全・快適に公園や緑地を利用することができるようにするため、公園施設の整備を行う。					
対象	公園利用者					
意図	公園を安全、快適に利用することができる。					
事業概要	芝生の整備、樹木管理の実施 12,539千円 公園トイレの水洗化及び洋式化 8,308千円 公園トイレの水洗化及び洋式化[R2 R3(繰越明許)] 21,087千円 遊戯施設の修繕、更新あるいは撤去 374千円 遊戯施設の修繕、更新あるいは撤去[R2 R3(繰越明許)] 23,967千円 遊戯施設の修繕、更新あるいは撤去[R2 R3(事故繰越)] 23,173千円					
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	公園施設整備	箇所	計画	4.00	2.00	
			実績	12.00	22.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	公園事故及びトラブル	件	目標	0.00	0.00	
			実績	0.00	0.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い			

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
公園施設の定期点検による危険箇所把握に基づいた計画的な施設補修の実施や、住民及び施設管理委託業者からの情報への早期対応により、できるだけ公園利用者のニーズに合った公園施設の確保や危険を伴う公園施設の改善を行うことに努めたことと、計画的な公園施設の改善（トイレ洋式化・水洗化、公園芝生整備、公園遊具更新）の実施により、事故やトラブルが発生しなかったと考えられる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	公園施設は公共関与が必要な事務であることから、市が取り組む必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	公園施設を整備することにより、安全性が確保され利用者が期待する公園環境が創出される。事業を継続的かつ計画的に実施していくことにより、利用者の満足度が向上する。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業を実施するうえで、もっとも効果的で必要最小限の施設整備に努めていることから、事業費・人件費の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	公園は一般に開放されているため、受益者は公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	公園施設の日常管理の結果や利用者、地域の要望を参考に、要求される内容の施設整備に努めるとともに、公園等施設長寿命化計画に基づき、計画的な公園施設の改善に努めた。
	次年度に向けて	今後も、社会や利用者のニーズに的確に応える安全、安心、快適な公園とするため、良好な公園施設を提供していくとともに、公園等施設長寿命化計画に基づき、効率的かつ適正な公園環境の改善に努めていく。